

アートマイルプロジェクト実践報告

ぼくたち、わたしたちと地域の方々との交流

越知谷小学校 宇那木仁香（第1学年）・向井美幸（第2学年）生活科・図工科・国語科

越知谷小学校は、地域の方々にとって、「おらが学校」である。それだけに、地域の方々は、学校にも子どもたちにも惜しみない愛情を注いで下さる。その愛情とは、花や野菜を育てる優れた技術や、豊かな自然を守ろうとする思いであり、人と人とがつながることの大切さ等である。地域の方々注いで下さった愛情に対し、子どもたちが受け取った有形・無形のものを子どもたちの手で形にするために、アートマイルを描いたり、「ありがとうをつたえる会」を開催したりした。

1 はじめに

実施期間 2007年4月～2008年3月
参加人数 第1学年8名 第2学年8名

2 ねらい

生活科で具体的な活動（野菜や花作り・川遊び）をすることで、地域の方々の技術や思いを直接学ぶ。また、学んだことを生活や学習の中に生かすとともに、自分たちの地域に誇りを持たせる。

3 方法

地域の方々との交流学习を行った際には、その日のうちに活動記録を書くようにした。また、教師の立場からもデジカメで交流の様子を記録し、子どもたちの気づきやつぶやき、感想を学年通信に掲載した。その通信を家庭や地域の方々に配り、交流に深まりがでるよう心がけた。

4 実践の内容

（1）地域の名人さんとの交流～1学期～

- ① 野菜作り名人
- ② 花作り名人
- ③ 川遊び名人
- ④ 線香作り名人

一学期は、各名人さんから様々なコツをたくさん教わった。

特に、野菜作りでは見事な野菜が収穫できたので、名人さんを招いてのサラダパーティーを開いたことや、屋根まで伸びたアサガオカーテンを背景にした記念撮影は、子どもたちにとっても思い出に残るものとなった。

また、地元の工場で作られた線香は、姫路市内の書写山田教寺にも納められていることを知り、校外学習で実際に円教寺に持参した。自分たちの住む地域には、人々に喜ばれるようなものが作られていることを体感した。

（2）学んだことを地域へ発信～2学期～

本校の学習発表会は、保護者だけでなく、地域の方々や神河町内のケーブルテレビの取材も

入るけっこう大がかりな発表会である。その場を活用し、名人さんから学んだことを子どもたちの言葉で表現し、劇にまとめて発表した。自然に印象的な場面が浮かび上がってきたように思う。

（3）ありがとうをつたえる会～3学期～

地域の方々が優しく丁寧に教えて下さったことに対し、感謝の気持ちを伝える会を開くことを年度当初に計画していた。そして、その会でアートマイルを披露することとした。

子どもたちは大勢の前で自分たちの絵が披露されることの喜びと2学年にわたって絵を描くという初めての体験にわくわくしていた。特に2年生の子どもたちが、自分たちは上級生であると自覚し、細かな部分も丁寧に描いていた。また、自分たちで描いたという思いを抱かせたかったので、自画像を周囲に描いた。描きあがった絵の上に寝ころんで、自画像と比べている子どもの姿はとてかわいかった。楽しんで描いたことがよくわかった。

5 成果と課題

<成果>

名人さんから学んだことや自分の思いを文章に的確に書く力、書いたことをわかりやすく発表する力など、さまざまな場面での表現力が身についた。また、2学年で絵を描いたことで、協働することの楽しさも体感した。

<課題>

一年間をまとめるという流れで取り組んだので、3学期は予想以上に忙しかった。課外の時間を利用する等して対応したが、低学年の子どもたちには負担になった時もあったように思う。また、保護者の方には、直接見ていただくことができなくて残念だった。

5 その他（取り組みの様子）

<http://can.town.kamikawa.hyogo.jp/ochidani-es/ochidani-story/1/1-h>

